大人の風しん予防接種助成事業

麻しん風しん混合予防接種を受ける方へ（説明書）

この予防接種は、予防接種法に基づかない任意の予防接種です。

接種の前にこの説明書を読み、効果や副反応をよく理解しましょう。

不明な点は、予防接種を受ける前に医師に質問し、十分理解した上で接種を受けてください。

【風しんについて】

風しんは、風しんウイルスの飛沫感染によっておこる病気で、潜伏期間は14～21日間です。軽いかぜ症状ではじまり、発熱、発疹、耳の後ろのリンパ節の腫れなどが主症状とされていますが、症状が出ないこともあります。抗体を持たない妊娠初期の女性が風しんウイルスに感染すると、先天性風しん症候群と呼ばれる病気になり、心疾患、難聴、白内障などの障害を持った赤ちゃんが生まれる可能性があります。

【予防接種の効果】

予防接種を受けると95%以上が免疫を獲得することができます。

【予防接種の副反応】

主な副反応は、発疹、紅斑、かゆみ、発熱、リンパ節の腫れ、関節痛などです。稀に生じる重大な副反応は、ショック、アナフィラキシー、急性血小板紫斑病、急性散在性脳脊髄炎、脳炎、脳症などが報告されています。

【予防接種を受けることができない方】

1. 明らかに発熱（通常37.5℃以上）している方
2. 重い急性疾患にかかっている方
3. この予防接種の接種液の成分によってアナフィラキシー（全身のアレルギー反応）を起こしたことがある方
4. 妊娠していることが明らかの方または現在妊娠している可能性がある方
5. その他、医師が不適当な状態と判断した方

【予防接種を受ける際に医師とよく相談しなくてはならない方】

1. 心臓病、腎臓病、肝臓病、血液の病気などの基礎疾患がある方
2. 過去に予防接種で、接種後2日以内に発熱、全身性発疹等のアレルギーを疑う症状がみられた方
3. この予防接種の接種液の成分に対して、アレルギーを起こすおそれがある方
4. 過去にけいれん（ひきつけ）を起こした方
5. 過去に免疫不全の診断をされたことがある方および近親者に先天性免疫不全の方がいる方

【予防接種を受けた後の一般的注意事項】

1. 予防接種を受けた後30分位は、急な副反応が起こることがあります。医師とすぐに連絡がとれるようにしておきましょう。
2. 接種後4週間は副反応の出現に注意しましょう。
3. 接種部位は清潔に保ちましょう。入浴は差し支えありませんが、接種部位をこするのはやめましょう。
4. 接種当日はいつもの生活をしてかまいませんが、激しい運動や大量の飲酒は避けましょう。

5. 接種後、接種部位の異常な反応や体調の変化があった場合は、速やかに医師の診察を受けましょう。

6. 女性は、接種前1ヵ月、接種後2ヵ月間は避妊する必要があります。

【健康被害救済制度について】

この予防接種は、任意予防接種です。このため、入院が必要な程度の疾病や障害などの健康被害が生じた場合には、独立行政法人医薬品医療機器総合機構法による救済制度の対象になります。気になる症状が発生した場合には医師にご相談ください。

【連絡・問い合わせ】

根室市役所健康福祉部子ども支援課子ども育成担当（窓口7番）（TEL 23-6111 内線2123）